

## 会 議 議 事 録

会議名	平成28年度第1回稲敷市総合教育会議		
日時	平成28年7月27日(水) 午後2時から	場所	稲敷市庁舎4階全員協議会室
出席者	田口久克市長，姥貝守教育委員長，山岡孝夫教育委員長職務代理者，須貸依子委員，徳田好廣委員，坂本繁教育長 <b>【事務局】</b> 内田副市長，高山政策調整部長，一畝田教育部長，根本教育学務課長 糸賀生涯学習課長，坂本子ども家庭課長，岡沢秘書広聴課長補佐，根本指導室指導主事 森田教育学務課長補佐，板橋教育学務課係長，高城秘書広聴課係長 (記録者) 秘書広聴課主幹 大竹		
議題	(1) 新たな教育大綱策定について (2) 新たな教育大綱(素案)について (3) その他		
傍聴人	なし		
事務局	定刻となりましたので，只今から第1回稲敷市総合教育会議を開催させていただきます。 開会にあたり，はじめに田口市長からご挨拶をお願いします。		
田口市長	本日は，平成28年度第1回稲敷市総合教育会議にご参加いただきまして，ありがとうございます。本市総合教育会議は，教育大綱策定に関することや，児童，生徒等に係る緊急時に協議することを目的に，平成27年9月に設置したところでございます。教育大綱の策定につきましては，現在のところ，市の教育振興基本計画を教育大綱として読み替えております。しかし，教育振興基本計画策定から5年が経過したこと，市民の教育と子育てへの関心と期待が高まっていることから，新たな教育大綱の策定を検討しても良いのでは，と考えております。そこで，本日は，新たな教育大綱策定を議題とし，委員の皆様と協議させていただきたいと考えております。それでは，本会が，稲敷市の教育行政の，さらなる充実・発展に寄与することを期待いたしまして，開会に際しましてのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。		
事務局	ありがとうございました。 続きまして，4月に人事異動がありましたので，本日，出席している事務局職員等を紹介させていただきます。 <b>【事務局自己紹介】</b> それでは次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。議事に移らせていただきます。総合教育会議運営要綱第4条第5項の規程により，会議の議事進行を田口市長にお願いしたいと思います。		
田口市長	それでは，議事進行を務めさせていただきますので，皆様のご協力をお願い申し上げます。議題(1) 新たな教育大綱策定について，説明を求めます。		

秘書広聴課 高城係長	<p>【資料（新たな教育大綱の策定に向けて）により説明】</p> <p>1. 新たな教育大綱の策定について</p>
田口市長	<p>只今、ご説明させていただきました新たな教育大綱策定についてですが、稲敷市で新たな教育大綱を策定するということでもあります。これに関して、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>(特になし)</p>
田口市長	<p>ご意見がなければ、新たな教育大綱を稲敷市において策定するということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
田口市長	<p>それでは、稲敷市において、新たな教育大綱を策定することといたします。 それでは、議題（2）新たな教育大綱（素案）について、事務局より説明を求めます。</p>
秘書広聴課 高城係長	<p>【資料（新たな教育大綱の策定に向けて）により説明】</p> <p>2. 新たな教育大綱（素案）について</p>
根本教育学務 課長	<p>【教育大綱（素案）により説明】</p>
田口市長	<p>只今、事務局から新たな教育大綱（素案）が示されました。これから、委員の皆様のご意見を伺い、また、他の計画と整合性を図りながら、内容を詰めることとなります。 折角の機会ですので、教育大綱（素案）について、教育委員の皆様から一人ずつ、ご意見をいただきたいと思っております。 姥貝委員長、お願いします。</p>
姥貝委員長	<p>まず、基本テーマが、「郷土を愛し、未来に向かって、たくましく生き抜く」、ということで、「生き抜く」で終わっていますが、子どもたちにおいても、それ以外においても、そういう「力」がほしいと感じます。「生き抜く力の育成」とか、そういう言葉にしてはどうかと感じました。 次に、施策の基本方針で、「育てましょう」となっていますが、「しょう」という表現だと弱いような気がします。「育てます」とか、語尾の表現を方が変えた方がいいかなと思いました。 それから、これまでの教育振興計画に取り組んできて、積み上げたものがあります。稲敷には何か足りないものがあるんじゃないかとか、ここはいいというものがあると思うので、そういったところを考えながら進めていくといいのかなと思いました。 最後に、基本方針の（1）②アのところに「稲敷スタイル」とありますが、「稲敷スタイル」というものが明確になっていないのではないかなという気がします。もっと打ち出すものがあってもいいのかなと思っております。「いなしきっ子」も、どういうものを期待しているのか。もっと強いものがあってもいいんじゃないかと。そういった中で、先ほどの、基本テーマに結びつくものになっていったらいいのではないかと考えました。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。事務局から何かありますか。</p>
根本教育学務 課長	<p>1点目の基本テーマですが、前基本計画の基本理念では、「郷土を愛し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」という表現でした。子どもの育成に限っていたので、「子どもの育成」という部分を抜いたものですが、持ち帰って検討させていただきます。 2点目の基本方針ですが、こちらは、現在策定中の市の総合計画の素案の言葉を引用</p>

	<p>したものです。教育の分野に関しては、「すくすく子育て学びのまちづくり」ということで、その中に二つの文言があります。「明日の稲敷を担う子どもたちを育みましょう」と、「楽しく学び続ける環境をつくりましょう」ということで、それに合わせて基本方針を作りました。これにつきましても、語尾の表現等について、検討させていただきます。</p> <p>「稲敷スタイル」、「いなしきっ子」についてのご意見ですが、こちらもちり帰って検討させていただきます。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。続いて、山岡委員長職務代理者、お願いします。</p>
山岡委員長職務代理者	<p>まだ勉強不足で、漠然としてよく分からないところがたくさんありますので、次回、意見を述べさせていただきます</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。続いて、須貸委員、お願いいたします。</p>
須貸委員	<p>2点あります。1点目は、学校危機管理が入っていないのではないかと。2点目は、貧困家庭、養育能力の低い親の元で育つ子どもをどう支援するか、そこには触れないのかなということが気になりました。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。事務局から何かありますか。</p>
根本教育学務課長	<p>1点目の学校の危機管理についてですが、今回の素案については載っていません。現在の教育振興基本計画には、学校危機管理体制の確立ということで事業が載っていますので、そちらにつきましても、検討して載せていくように考えていきたいと思います。</p> <p>2点目の貧困家庭への支援等については、現在の教育振興基本計画には項目としてはありませんが、現在、市の総合計画の中では、就学援助について項目として載せていますので、市の総合計画との整合性を図るためにも、大綱に載せていくように考えていきたいと思いますので、持ち帰って検討させていただきます。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。続いて、徳田委員、お願いいたします。</p>
徳田委員	<p>稲敷市の教育大綱ということですので、全体像になると思います。一つは、今までやってきた教育方針がありますが、今までの大綱をもとに指導してきたものが、どのような成果があったとか、どういうところが欠けていたとか、検証して、その上で新たな大綱を作るのが大事だと思います。新たな教育大綱ということですので、日頃考えていることの要望も含めてお話をさせていただければと思っています。</p> <p>関連するところは、基本テーマのところと、施策の基本方針の(1)②、その中でとくにエ、その中の、国際教育の充実、郷土教育の充実というところですね。もう一つは、(2)②の地域文化の活用と継承のところに関連してくるのかなと思います。</p> <p>私が日頃考えているのは、教育というものは、市が中心にならなければいけないということです。全国どこを見ても、教育への関心は非常に高いわけですね。それを市と結び付けて考えるに、例えば圏央道ができました。圏央道ができて、非常に交通量も多くなっています。稲敷市は非常に魅力的なところだと私は思っています。江戸崎かぼちゃのGI登録など、どの分野でも頑張っていて、すごいPR効果があるわけですね。それを求めてくる方々も、圏央道を使ってずいぶん来ているという話です。教育に関していえば、稲敷独特の教育の目玉があれば、利用してくれる人が多いのではないかと思います。人口増加を、教育の面で担っていければと思うわけですね。文部科学省でも進めているように、国際教育、ここはカナダと交流がありますが、もう一つ、英語教育、たとえば義務教育以前の英語教育をPRして、ここは他とは違った指導をしてくれるというのを強調していくとか、そういった国際教育に力を入れるというのを強く打ち出してもいいんじゃないでしょうか。英語検定とかいろんなことをやっていますけれども、それも含めて、もっともっと大々的に、保護者の方、地域の方が注目をしてくれるようなものを考えてもいいんじゃないかと、個人的な考えですけども、思います。</p>

	<p>また、「郷土を愛し」ということで、最後の、地域文化の活用と継承というところですが、子どもたちが、稲敷に魅力を感じるということが大事だと思うんです。しぼんでいく稲敷市より、みんなが集まってくる稲敷市がいいんじゃないかと思うんですね。そのために、子どもたちが、魅力があるからここに残るんだ、それを他に伝えたいんだと思うようなものを挙げていくと、浮島というところ、浮島では全国的に有名な小説が書かれているんです。他にも、名所、旧跡がたくさんあります。浮島は歴史も古く、歴史の宝庫で、それを調べるだけでも子どもたちにとって非常にいいことだと思います。</p> <p>英語教育と、地域の歴史教育に力を入れるということが大事なんじゃないかと思えます。そうすると、地域の活性化にもなりますし、子どもたちは、自分の地域にこんなところがあったのかと、自信と自慢と、郷土への愛着もわいてくるんじゃないかと思えます。「郷土を愛し、未来に向かって、たくましく生き抜く」要素は十分にあるので、環境づくりと、環境の中で先生方がどう教育していくか。その先生方を、教育委員会としてどう支援していくかということにつながっていくのではないかと思います。県、国にならうことも大事だと思いますが、市の中で何がPRできるか、子どもたちにとって何がいいか、そこに視点を置いて作っていくということが大事なんじゃないかと思えます。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。事務局から何かありますか。</p>
根本教育学務課長	<p>教育振興基本計画の5年間の教育方針に基づく事業の検証ということで、成果と課題はどうなのかということですが、教育委員会の事業につきましては、毎年、点検と評価を行っています。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中に、点検評価という条文があり、教育に関する学識経験者のご意見、評価をいただくということで、大学教授の先生に点検をお願いしています。その結果は、教育委員会と議会に報告しております。教育大綱は、教育に関する目標、基本方針ですので、成果と課題という項目はありませんが、新しい教育振興基本計画は、5年間の成果と課題を盛り込み、策定していきたいと思えます。</p>
田口市長	<p>私からも2点、お話しさせていただきます。</p> <p>2016年の住みよさランキングが東洋経済新報社から発表されました。稲敷市は、去年より140位くらい順位が上がって、813の自治体中、298位でした。茨城県の中では34の市のうち、15位でした。調査は5つくらい項目があり、稲敷市が全国3位になっている項目もありました。稲敷は捨てたもんじゃない、と考えています。稲敷の良さをもっとアップさせるためには、徳田委員の言っていたところを加味してやっていければ、もっとよくなると思えます。</p> <p>また、浮島についてですが、国土交通省の方で、霞ヶ浦に16メートルの栈橋を作ろうという話が以前ありました。土浦港から、ジェット船に乗って稲敷まで来て、稲敷から潮来の方に行くというものです。こういうものができると、観光面で大きいと思えます。ただ、漁業権など、難しい面もあります。地元の皆さんも大切にしないといけませんし、地元にお金が落ちるようにしないといけません。浮島は観光には素晴らしいところなので、徳田委員が言っていたようなことをやっていけば、住みよさランキングももっと上がるんじゃないかと思えます。</p> <p>いろいろ言わせていただきましたが、頂いたご意見は持ち帰りまして、新たな大綱に反映させたいと思えます。</p> <p>それでは、次に議題(3)その他です。事務局よりなにかありますか。</p>
事務局	<p>次回開催日は、8月25日の午後で調整しております。よろしく願いいたします。</p>
田口市長	<p>他に何かございますか。</p>
坂本教育長	<p>稲敷スタイルについて、明確なものが分かりづらいということでしたが、確かにその通りです。現在、中学校区があって、中学校区の中に小学校があります。この、小中学校区の連絡協議会が1月に立ち上がって、桜川であれば桜川スタイル、新利根であれば</p>

	<p>新利根スタイル、様々なスタイルを作り上げているところです。その作り上げたものを統括して、稲敷のスタイルになっていくのかなと思っています。その柱は、学校で見ると、いなしきっ子というのは、学校を休まないとか、学校生活を豊かに楽しむとか、そういった部分について様々なことが起きていますので、それを解決していくのに、授業を改善していくということで、「稲敷スタイル」の授業ということになります。いい授業よりも、子どもたちに分かる授業をやってほしいと、このスタイルを作っていく、それを持続する仕組みを作らないと、おそらく先生方に任せっきりになるであろうと。そのために、組織づくりを立ち上げているところです。反省に基づいて受けとめていますので、そういう仕組みを作っていくということです。</p> <p>それから、徳田委員からありました、自然、歴史遺産についてはまさにそのとおりです。これを未来にどうやってつないでいくかという、これも仕組みを作らなくてはいけない。次の5年間は、実行に移す行動の5年だと思うので、持ち帰って検討し、お示ししていきたいと思います。</p> <p>委員長からありました、「行き抜く」で止まっている、ということですが、高齢者が増えてくるので、高齢者もたくましく生きてほしいというのがあります。そうになると、社会教育だとか、生涯学習だとか、そういったところに盛り込んでいってもいいのかなと思います。学習社会を作っていく、学びの集団を作っていくということ、勉強したい人たちにどれだけ機会を提供できるか、勉強したい人たちが勉強しやすい環境を作っていく、そういう方法を模索していく必要があると、今日ご意見を聞いて思いました。ご意見をいただきながら、未来志向の大綱になればと考えています。</p>
田口市長	<p>ありがとうございました。他に何かございますか。</p>
高山部長	<p>総合計画を担当しております所管課として、徳田委員からいただいたご意見について、簡単にお話しさせていただきます。現在、総合計画は、第2期目を策定中で、その中で、教育を市の施策の最重要施策に位置付けてはどうかということでやっています。これまで市民にアンケート調査をした結果でも、教育・子育ての充実というのが最も多いということで、今回、施策の柱の中でも、子育て、教育というのを、第1番目に挙げている状況です。今後の市の施策の中でも、優先的に予算配分をして、優先的に事業を行っていきます。現在、教育大綱の策定も含めて、総合計画としても、たとえば教育で、独自でどういったものができるのか、子育てとしてどういう支援策ができるのか、各担当課にヒアリングを実施しており、そういった結果を取りまとめ、会議の中でご意見を伺いたいと考えていますので、よろしくお願いします。</p>
田口市長	<p>他に何かございますか。</p> <p>(特になし)</p>
田口市長	<p>特に無いようでしたら、ここで議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第1回稲敷市総合教育会議を終了させていただきます。ご苦勞様でございました。</p>